

# 岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第4号

## 第4回会報によせて

関西支部長 藤井 孝友

平素は岐阜大学工業倶楽部 関西支部の活動や行事にご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございます。昨年に引き続き、関西支部会報（第4号）の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。昨年1年を振り返ってみますと、一昨年の東日本大震災とそれに続く大津波、また東京電力福島第1原子力発電所の最悪の原発事故等の復旧と復興に国を挙げて全力で取り組んできました。残念ながら、それぞれ被災地域の現状は2年間過ぎた今でも、復旧すらなかなか進みません。また、昨年12月の総選挙の結果、民主党から自由民主党へ政権が交代し、第2次安倍内閣が誕生しました。安倍内閣の経済政策、特にデフレから脱却し、適度なインフレへ導く政策は、長く日本経済を苦しめてきた円高ドル安を是正し、再び日本経済に活力を呼び込む最後のチャンスと思われまます。



さて、現在関西の2府4県に在住する卒業生はおよそ2,000人ですが、当支部の会員数は140人ほどに過ぎず、組織率は10%に達していません。10%に達すれば、支部活動の更なる活性化と飛躍が図れるものと思っています。このような背景から、当支部では昨年「キーマンネットワーク」という手法を活用した会員数の増大を図る活動に力を入れています。この活動は関西の代表的な企業から約10社ほどを選び、それぞれの企業にキーマンを選任し、その方を中心としたネットワークを活用して新規の入会を呼びかけ、会員数を増やそうとするものです。活動は緒についたばかりですが、大きな成果につなげたく、役員一同懸命に努力しているところです。

関西地域には日本を代表する企業がたくさんあり、また関西特有の企業文化や風土があると思います。支部活動が活性化すれば、関西に立地する企業や研究機関などの技術情報や先端技術動向と母校岐阜大学の基盤技術との交流を推進するパイプ役的な活動が可能になり、新たな技術開発の可能性により母校岐阜大学と地域社会の発展に貢献できるのでないかと考えております。今後とも当支部活動へのご協力とご支援を重ねてお願い申し上げます。

## ご挨拶

岐阜大学工業倶楽部会長

臼井 憲義

岐阜大学工業倶楽部関西支部の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、会員の皆様には日頃より工業倶楽部の活動や事業にご協力とご支援を頂いておりますこと、厚く御礼申し上げます。現在、岐阜大学工業倶楽部は会員数27,000人を超え、全国に亘る同窓会組織となっております。工業倶楽部支部の設立により、地域に密着したきめ細かい同窓会活動や同窓の絆の拡大に大きく貢献して頂いております。



我が国の基幹産業は、自動車、機械、電機等を中心とする「ものづくり」です。しかし、今や我が国の経済・産業は激動の世界経済に飲み込まれ、従来の延長上の「ものづくり」ではもはや通用しなくなり、今後は過去の常識を捨て未知の領域に向って挑戦と創造の道を進むしかありません。新たな「技術立国日本」の再生に向けて、いま経済・産業界では、大学理工系学部の英知と輩出される人材への熱い期待が高まっております。しかし一方では、大学に対する社会の目は厳しく新たな大学ビジョンが求められています。

昨年、我々が学び舎岐阜大学工学部は70周年を迎えました。この間、岐阜大学工学部は社会に多くの知と人材を輩出し地域産業はもとより、我が国の産業発展に大きく貢献してきました。現在、岐阜大学は新たな産業構造の変化やグローバル化に対応して、社会が希求する知の創出と新たな社会に貢献する人材の育成を目指して、学科改組等の改革が進められています。

岐阜大学工業倶楽部は、岐阜大学の理念実現と工学部のさらなる飛躍に向けて、従来からの工学部や研究室、在学生への支援や国際交流支援を推進するとともに、学生と社会・産業界を繋ぐパイプ役として、特に学生の就業に関わる支援を積極的に推進いたします。

岐阜大学工業倶楽部関西支部の会員の皆様には、われらが学び舎岐阜大学工学部がより一層飛躍出来るよう、工業倶楽部の活動や事業に益々のご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

# 岐阜大学工業倶楽部関西支部委員会報告

## ◇ 総務委員会

総務委員長 浅沼良行

### 第4回定期総会報告

2012年6月17日、岐阜大学工業倶楽部関西支部第4回定期総会がホテルコムズ大阪で開催された。

第1部：総会、第2部：記念講演、第3部：懇親会の構成で、記念講演は岐阜大学学長 森秀樹氏「岐阜大学の現状と課題」でした。参加者はご来賓3名、会員33名でした。

また、今期は2013年3月末までに役員会を4回（7/14、9/15、12/15、2/2）開催した。



## ◇ 会報編集委員会

会報編集委員 菅村 浩

岐阜大学工業倶楽部関西支部会員の皆さまにはご健勝でご活躍のことと存じます。日頃より関西支部の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。今年も関西支部の活動について皆様にわかりやすく、見やすい掲載を心がけ、関西支部ホームページから会員の皆様に情報を発信しました。また、会報については、年一回の発行ですが、出来るだけ会員の皆様のご意見を反映し、写真を多数掲載しました。これからも要望やご意見を気軽に寄せていただきますようお願い申し上げます。

## ◇ 名簿編集委員会

名簿編集委員長 渋谷欣司

会員のメンテナンスを4回実施しました。これは宛先不明の連絡先を問合わせたり、会員からの変更申請をいただいて会員名簿に反映させたものです。また、新規入会会員の登録もしました。

今年度は、新規入会4名、退会2名で、現在の総会員数は、142名で前年度と横ばいです。

**会員のみなさん！！** 登録内容の細部の変更でもご連絡ください。また新規入会への呼びかけをお願いします。

## ◇ 行事委員会

行事委員長 栗野順二郎

### ☆長良川鵜飼と長良、各務ヶ原旧学舎の見学☆

2012年10月12日、『岐阜大学跡地見学と長良川鵜飼見物』を貸切バスを仕立てて実施した。15名の参加があった。長良学舎と各務ヶ原学舎はそれぞれの市の公園になっており、昔の面影は確認できなかった。

そのあと、世界的に有名な「長良川の鵜飼」を目の当たりに見て、岐阜の風情を楽しんだ。

### ☆第3回懇親ゴルフコンペ☆

2012年11月14日、「岐阜大学工学部関西支部のゴルフコンペ」をダイヤモンド滋賀ゴルフクラブで開催した。

## ～ 関西支部の行事詳細～

### ☆ 第3回懇親ゴルフコンペ ☆

行事委員長 栗野順二郎

第3回交流会ゴルフコンペを行なった。

参加者は少なかったが和気あいあいと快晴の中、ゴルフを楽しんだ。

- 日時 : 2012年10月12日(水)  
場所 : ダイヤモンド滋賀ゴルフ倶楽部  
スタート時刻 : 午前8時27分  
プレー方式 : キャディ無し、セルフプレー、6インチリブレース有  
コンペ方式 : ダブルペリア方式(ハンディ最大 36)  
結果 : 優勝は、塚口氏  
ニアピンは、塚口氏と長戸氏



スタート前の写真



パーティの写真

### ☆ 長良川鵜飼見学☆

鵜飼観光船に乗る前に鵜匠より簡単な鵜飼の説明を受けた。鵜匠は宮内庁職員で薄給ながら月給が出るという。また、一人で12羽の鵜を操ると1人前だそうです。そのコツは若い鵜は行動半径が広いので紐は長くし、年老いた鵜は行動半径が狭いので紐は短くして、鵜の行動の一步先を呼んで早めに紐にもつれを生じさせない事のように。また、首を絞める喉の穴の大小で鵜が少し鮎を食べながら働かせるのもコツだそうです。

その後、早速観光船に乗り込んだ。各鵜匠は12羽の鵜を操って、次々と鮎を捕まえた。船頭さんは、美人の姉さん船頭で鵜飼船の近くに船を寄せて鵜飼いを目の前で見る事が出来た。食事は鮎の塩焼きが真ん中に置かれ、周囲を鳥のから揚げ、卵焼き、筑前煮などご飯の弁当タイプであった。特に鮎の塩焼きのハラワタの苦味と皮の表面の塩の辛さのバランスがとても良く、ビールや日本酒の口に合いとても美味しく戴き、ほろ酔い気分を満喫した。



鵜飼船の写真



鵜飼観光船内の写真

## 会員の声

### 岐阜大学で体験談を披露

岡田敏嗣（工学部電気科 1974 年卒）

テーマ「私は社会でこう生きてきた」～サブタイトル「縁を大切に～地域と共に生きる」を 140 名程の教養部学生に 11 月 27 日に講義させて頂きました。学生時代のこと、社会人での学び、阪神大震災の体験、環境グループ「ワット神戸」の活動、社会人になる諸君へのアドバイスを話しさせて頂きましたが、同時に自分の歩んできた歴史の振り返りとなり、私自身随分学ぶことが出来ました。学生時代は、先生・友人・先輩・後輩と出会い、社会人になってからは、上司・同僚・お得意先・仕入先などとの仕事を通じた「縁」が、ずっと絡み合っていて、知らないどこかで繋がっていて、自分自身が生かされてきたと感じる体験が、多々ありました。不思議なことです。



阪神大震災後、市況が思わしくない時期が続いたことがきっかけで、自然エネルギーをビジネスに繋げようと異業種メンバー 30 名と「ワット神戸」というグループを作りました。その活動に、経済産業省の予算がついて色素増感型太陽電池に辿りつき岐阜大学の吉田先生と連携して、「飛び出す絵本」を作りました。豊かな人生を築くために、これからも「縁」を大切にしたいですね。学生諸君の今後に期待します。

### 仏像彫刻

木内尚之（工学部機械科 1969 年卒）

私の父が亡くなったので大阪に墓を建立することにしました。運良く茨木カンツリー倶楽部を見下ろす深敬寺というお寺さんに墓を建立しました。住職の馬淵憲峰師がお寺の金堂で仏像彫刻教室を開いていました。師から仏像彫刻を始めませんかとお誘いを受けましたが当時は海外を飛び歩いて仕事をしていましたので大阪に腰を落ち着けると仏像彫刻をしますと答えていました。



単身赴任に疲れて、大阪に帰り神戸の小さな会社に転職をして不真面目ですが仏像彫刻を始めて 10 余年になります。腕は上がりませんがその間、手を彫刻する事が度々ありまして、ひどいものは救急病院に駆け込み、5 針を縫う傷も負いました。作品は人にお渡ししています。友人の奥方が亡くなられた時、真言宗は仏壇に仏像などを置いて故人に寂しい思いをさせなくするとかで私の愚作、地藏菩薩を仏壇にお渡しした事もあります。仏像彫刻教室は無名塾と言いましてインターネットで見れます。本ページに搭載しました大黒天はお世話になった会社の金運を祈って彫り、お渡しました。仏像に絵とか紋を画き込む人は鑽金師（キリガネシ）と呼ばれ、仏像彫刻とは別の専門芸術師です。眼が良くて、手先が器用で、美術感覚の良さが必要とされます。これからは時間が十分にありますので体力のあるうちに 2 尺 5 寸ぐらいの大作を彫りたいと考えています。

**名簿管理委員会からのお願い** “入会申込書”でお届け戴きました、会員各位の個人情報、①会員各位への情報発信として、②会員相互の連携を計って戴く為の中継的役割として、支部活動を円滑に進める為に重要なツールとなっております。その為には、たえず生きた個人情報を把握しておく事が必要となります。

**“お届け戴いている各位の情報に、変更が生じた時、また新規に設定された時”お手数ですが、事務局までご連絡戴くようお願い致します。**特に、電子メールでの情報提供を優先にしておりますので、メールアドレスを変更新たに取得された時は、お忘れなくご連絡、登録戴きますようお願い致します。今後も各位の情報の管理には万全を期し、支部活動にのみ活用させて頂きます。

#### ご連絡、お問い合わせ：

岐阜大学工業倶楽部関西支部 事務局長 阪上丈一

〒554-0012 大阪市西区立売 1 丁目 4 番 9 号中井産業ビル 4F

TEL:06-6543-6186.Fax:06-6543-6186,E-mail:gidai@koeiaquatec.co.jp

岐阜大学工業倶楽部関西支部

発行人 支部長 藤井 孝友

編集人 会報委員会 委員長 田中 健晴

担当 木内 尚之、菅村 浩